



◇社会人になる準備に取り組もう！！

皆さんは数ヶ月後には、社会人としての生活が待っています。そこには確実に学生時代と違う環境が待っています。“その時”が来て戸惑わないように、今から“社会に出る準備”を進めていきましょう！



決められた時間を守ってる？



社会人になると「時間を守る」ことが今よりももっと大切になります。社会では、「時間にルーズな人は信用されない」と考えて下さい。信用されなければ、責任を持って仕事をするなど出来ません。高校を卒業するまでに、“時間を守るのは当たり前なこと”として行動できるようにしましょう。「決められた時間よりも5分早めに行動すること」と「もしも時間に遅れる場合は連絡すること」の2つは必ず守りましょう。



カラダの準備はできてる？



おそらく就職後の「勤務時間」は学校の「授業時間」よりも長くなるでしょう。仕事によっては、不規則な労働時間や遅くまでの残業があるかもしれません。また、職種によっては、勤務時間のほとんどを立ちっぱなしで過ごすこともありますし、仕事は体調が悪いからといって簡単に人に代わってもらえるものではありません。社会人生活に備えて「働き続けられる体力づくり」「健康管理」がとても大切です。



あいさつや返事をさぼっていない？



朝、職場に行ったらあいさつをする。話しかけられたら返事をする。あいさつや返事は社会人にとって基本的なマナーです。学生のうちに身につけておきましょう。あいさつと返事さえしっかり出来ていれば、もしも就職後になかなか職場になじめないようなことがあっても、先輩の方から声をかけてくれるはずですよ。元気に声を出せばそれだけでも好感度がアップします。



学ぶ姿勢は身につけてる？



「学校を卒業したらもう勉強しなくてよい」。もし、そう考えている人がいるとしたらそれは大きな間違いです。社会人になると「授業」というカタチでの勉強をする機会は無くなるかもしれませんが、仕事に必要な技術や技能を身につけるためには、日々の勉強が欠かせません。学校のように待っていれば教えてくれる環境ではないので、積極的に学ぼうとする姿勢が大切です。自分から積極的に取り組む姿勢を身につけましょう。



オトナの言葉遣いはできる？



社会人になってから多くの方が大変な思いをするのは「言葉遣い」と言われています。学生時代に話をするのは同年代ばかりで、本来は敬語を使うべき先生に対しても友達に対するのと同じような話し方をしている人も多いのではないのでしょうか。学校では許されるラフな言葉遣いも社会では許されない場面があります。言葉遣いでいきなりつまづかないよう、早いうちからきちんとした言葉遣いの習慣を身につけましょう。



目標を持って行動出来てる？



社会に出れば楽しいことばかりではありません。初めての社会人経験には必ず苦労があるでしょう。しかし、辛いことや苦しいことから逃げていたら、自分を成長させることは出来ません。『目標』に向かって出来なかったことが出来るようになるまでがんばる。その「経験」がかけがえのない財産になるのです。身近な目標で構わないので、自分を向上させられる人生の目標を見つけて下さい。今からでも遅くありません。

(資料出所 厚生労働省[高校生就職ガイダンス]より)

<編集後記>【保護者の方へ】

あいさつや言葉遣いは、放っておくと退化しやすいと言われています。学校という限られたコミュニティの中では、これらを多少おろそかにしても不都合無く生活が出来るからです。学校や家庭で大人が良い見本を見せ続けることが大切です。(A)